

「現状分析と課題」で整理すべき項目

翌日までに対応

EMIS

指揮系統の確立(C)

- ・本部の設置
- ・支援指揮所の設置
- ・定時ミーティングの実施と提案
- ・現場職員間の情報共有

即時対応

安全管理(S)

- ・建物の危険状況(倒壊、火災、浸水) 緊急/詳細
- ・環境・ライフライン(電気、水 etc) 緊急/詳細

通信と情報伝達(C)

- ・通信手段の確保

被害状況

- ・患者受診状況 緊急
- ・発災後受け入れた患者数 詳細
- ・在院患者数(外来+入院) 詳細

診療活動(医療提供)

- ・稼働病床数 詳細
- ・受け入れ可能人数 詳細
- ・手術、透析の状況 詳細
- ・外来受付状況および外来受付時間 詳細

人的資源管理

- ・職員の不足 緊急
- ・職員数 詳細

EMIS

環境・ライフライン

- ・電気 詳細
- ・水 詳細
- ・冷暖房設備
- ・下水、排水
- ・施設内環境

物資(物理的資源管理)

- ・サプライ状況(衛生資材、薬剤 etc) 詳細

搬送活動・支援

- ・今後搬送が必要な患者数 詳細

生活支援

- ・食事、廃棄物、リネン、洗濯、清掃、トイレ、風呂 詳細

数日以内に対応

職員支援

- ・宿泊施設、入浴確保、ストレスケア

リスクコミュニケーション

- ・患者、患者家族への情報提供
- ・メディアや一般への状況説明

病院機能維持に強く影響

「現状分析と課題」で整理すべき項目

現状分析から活動方針立案

病院行動評価	0:緊急避難 I:避難 II:機能維持 III:通常運用/病床拡張			
大方針	全避難	籠城	通常運用・病床拡張	
支援ステータス	重点支援	要調整	要観察	支援不要
活動方針	※OSCATTIに基づき優先順位をつけて記載する、具体的な活動内容を記載する、どの部門(もしくは誰)が担当するかを記載する			